

特記事項・使用材料

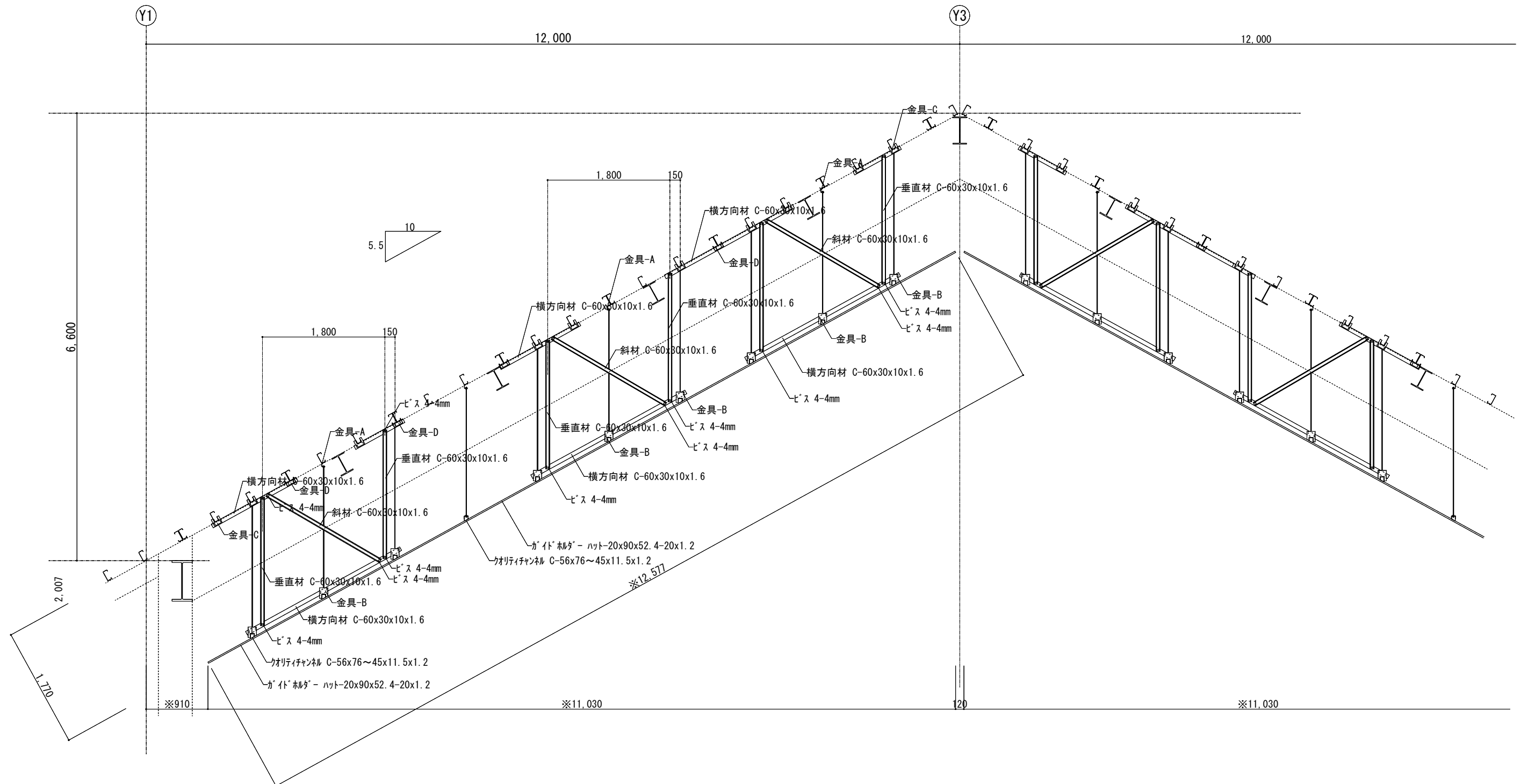
特記事項

- 1) 施工にあたって、最初に既存部材・壁位置・設備機器等の計測を行い納まりの検討を行うこと。
 検討の結果、下記の条件を満たさない場合は耐震補強に対する計算を行い、適切な変更を行うこと。
- 2) 耐震補強の基本条件を下記にします。
 - ・X方向（桁行）の耐震補強構面の実長負担幅は、3.6m以下とする。
 - ・Y方向（スパン）のX6通端部の耐震補強構面の実長負担幅は、2.5m以下とする。
 - ・Y方向（スパン）の上記以外の耐震補強構面の実長負担幅は、4.0m以下とする。
 - ・各構面の補強箇所数は設計図書以上とする。
- 3) 天井の壁面、設備機器等とのクリアの水平投影距離は、60mm以上とする。
 天井間のクリアの水平投影距離は、120mm以上とする。

使用材料

吊ボルト	W3/8 (9φ)	⊗
ガイドホルダー	ハット-20 x 90 x 52.4 - 20 x 1.2	-----
クオリティチャンネル	C-56 x 76 ~ 45 x 11.5 x 1.2	=====
X方向（桁行）耐震補強材	
斜材	C-60 x 30 x 10 x 1.6
垂直材	[-40 x 20 x 1.6
Y方向（スパン）耐震補強材	
斜材	C-60 x 30 x 10 x 1.6
垂直材	C-60 x 30 x 10 x 1.6
横方向材	C-60 x 30 x 10 x 1.6
接合部金具	PL-2.3	

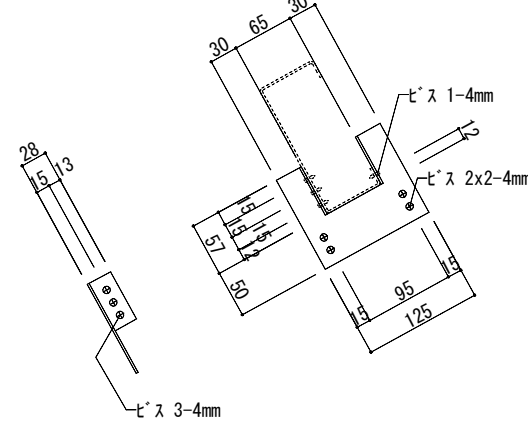
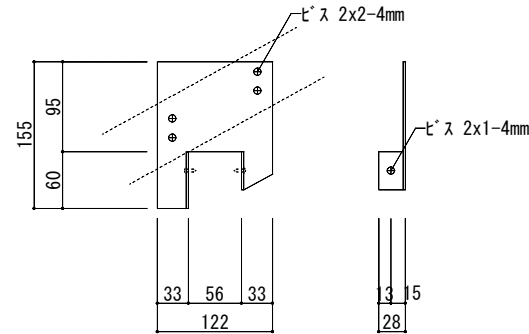
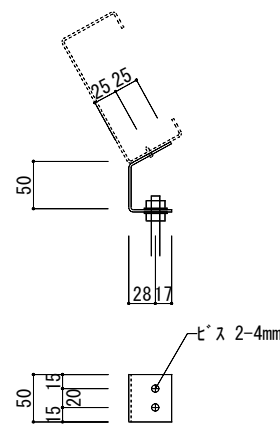
長野原町立中央小学校体育館天井改修工事		設計	2018年6月14日
S-01	3階耐震天井伏図	(A1) 1/100	第1回変更
		(A3) 1/200	第2回変更
			第3回変更
			第4回変更
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所			



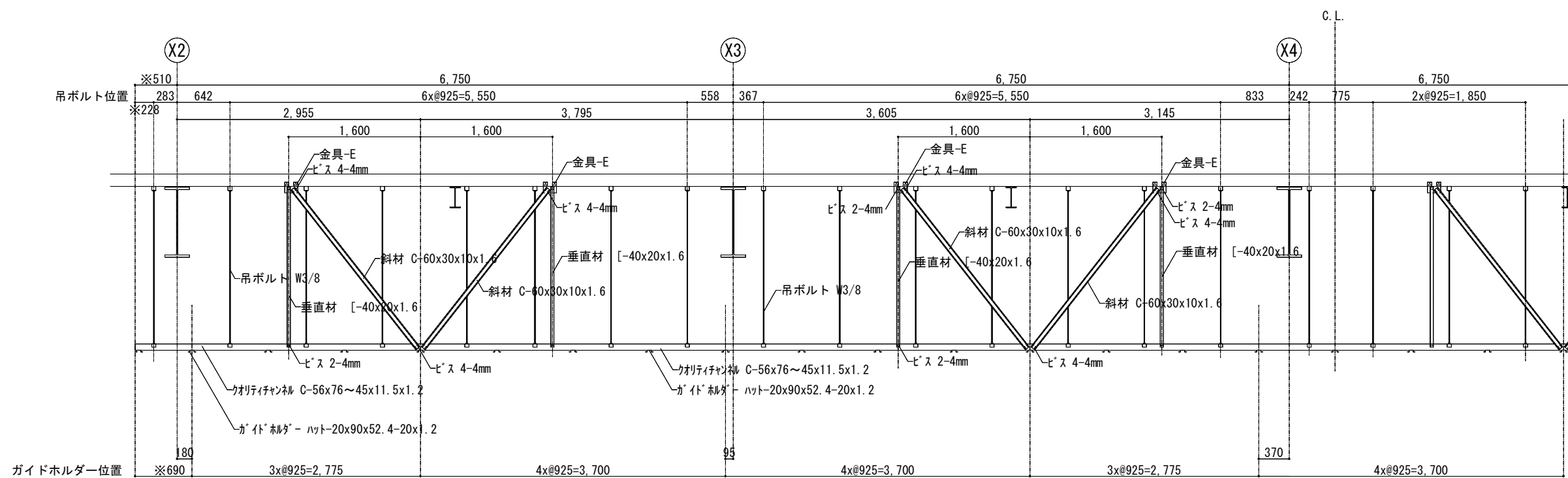
金具-A詳細図 S=1/4 使用 PL-2.3

金具-B (Y方向) 詳細図 S=1/4 使用 PL-2.3

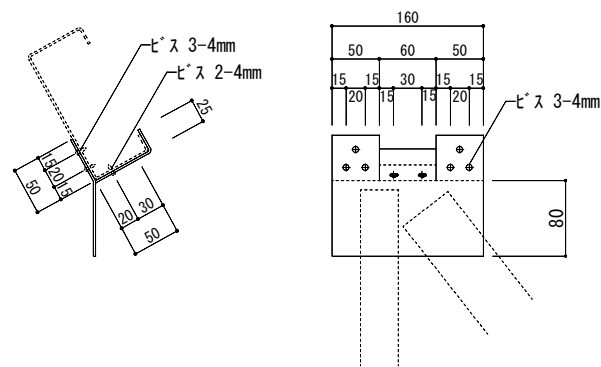
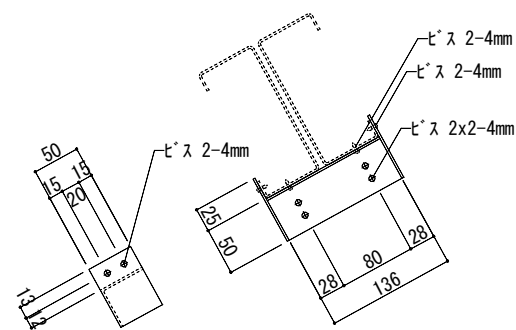
金具-C (Y方向) 詳細図 S=1/4 使用 PL-2.3



長野原町立中央小学校体育館天井改修工事		設計	2018年6月14日
S-02	Y方向耐震補強詳細図 金具詳細図	(A1) 1/100	第1回変更
		(A3) 1/200	第2回変更
		(A1) 1/4	第3回変更
		(A3) 1/8	第4回変更
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所			



金具-E (X方向) 詳細図 S=1/4 使用 PL-2.3



長野原町立中央小学校体育館天井改修工事		設計	2018年6月14日
S-03	X方向耐震補強詳細図	(A1) 1/100 (A3) 1/200	第1回変更
	金具詳細図	(A1) 1/4 (A3) 1/8	第2回変更 第3回変更
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所		第4回変更	

(群馬県)長野原町立中央小学校体育館天井改修工事
設計・監理: (株)梶建築設計事務所

面積 : 740.4㎡

CPS耐震システム天井「フラット仕様」

天井複合板t=30:ポリスチレン保温板3種t20+ロックール吸音板t9(トラバーチン仕様)

CPS耐震システム下地組状況①



CPS耐震システム下地組状況②



天井複合板挿入状況



天井仕上り

